

5

## 大まかな卒論提出までの流れ



10

### テーマの決定

- ・大まかに自分の興味あるテーマを決める。
- ・過去のプリントなどを見直す
- ・真っ白な紙に自分の興味のあることを書き出すと、頭の中が整理される。
- ・10月がテーマ（題目）の締め切りなので、それまでに確定させる。（題目を提出すると変更は不可能）
- ・論文の構成が浮かばない時は、先生や先輩に相談する。（先生に相談する場合は必ずアポをとること。）

20

### 資料収集

- ・自分のテーマにあった書籍や論文を用いて調べる。（書籍は大宮図書館、論文は CiNii、国会図書などを活用すること）
- ・書籍や論文は、書き込みができるようにコピーする
- ・参考文献として使えるような本は、書誌情報（著者、題名、出版社、出版年など）を必ずメモしておく。パソコンに入力しておくといよい。
- ・書籍や論文を収集できたら、徹底的に読み込む。
- ・先行研究を調べる。  
→自分のテーマに関して、先駆けて発表された研究を調べる。先輩諸氏方の研究結果をそれぞれ比較し、先行研究をまとめる。
- ・遅くなればなるほど、図書館から本が貸し出されていくので、早めにコピーなどをする。
- ・資料が見つからない時は、先生や先輩に聞くことも大切。

35

## 執筆

- ・一番最初に書式設定をしておく。（「卒業論文作成マニュアル」を参照すること）
  - ・卒業論文のバックアップは必ず行う。（USB や Dropbox などのクラウドなど）
  - ・書けるところから書いて、最後にまとめるとうまくいく。
- 5
- ・悩むことがあったり、内容が適切かどうか判断できない場合は、先生に相談する。（相談する場合は具体的な質問を考えておく）
  - ・単語や言葉は、複数の辞書を使って文章が合致するように的確な意味で使う。  
例：真宗の辞書は、浄土真宗辞典、真宗新辞典、浄土真宗用語大辞典など。仏教の辞書は、  
仏教大辞典（望月先生）、仏教語大辞典（中村先生）など。
- 10
- ・論文の方向性を見失わないようにする。
  - ・行き詰った場合は、休憩したりしてリフレッシュすると良い。
  - ・ことばの表現に注意する。（～だ。～である。等）
  - ・ブログやまとめサイトなどの情報は、論文には使えない。また、コピー&ペーストや盗作は厳禁。もし、引用したい場合は脚注をつける。

15

## 論文提出

- ・論文を書き上げたら、誤字や脱字がないか、内容は適切か、音読してチェックする。
  - ・「卒業論文作成マニュアル」を参照し、書式のチェックを行う。
  - ・自分では誤字や脱字を見落とす場合が多いので、先生や先輩、友達に見てもらう。
- 20
- ・卒業論文を提出する際は、学科ごとに違う色のペーパーファイルに入れて提出する。また、サイズも指定されているため、間違いのないようにする。
  - ・卒業論文の2日前にはコピーをして、提出できるようにしておく。

## 最後に

- 25
- 私が伝えられることは以上となります。このレジュメに詳しく書いていませんが、卒業論文を提出した後にも口述試問があります。最後まで気を抜かず頑張ってください。